

「不登校・ひきこもり経験者等、社会に出るのに不安を抱える 青少年に対する総合的な相談支援及び居場所づくり」

NPO法人 京口スコラ

当団体について

不登校生対象のフリースクール京口スコラとしてスタートし、2003年にNPO法人化。スタッフは全員、臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、保育士の有資格者で構成。現在は、学齢期～青年期に至るまでを対象に、その人が社会とつながるための支援を心身両面にわたって提供している。
併設の相談機関京口カウンセリングセンターと連携して運営。

1. 事業の目的

社会に出るのに不安や困難を抱える若者は年々増えており、次第に高齢化していることも大きな問題となっている。そのような、なかなか外に出られない若者が気軽に利用できる居場所を作り、そこで安心できる人と出会いながら、生活訓練、共同活動、共同作業などができる機会を提供し、心身の安定と、自立的に社会とつながれることを目指す。

2. 主な活動

居場所事業 ... 毎週金曜日 11:00～17:00 開所。

日常会話、創作活動、生活体験、農作業、レクリエーション、季節のイベントなどを通して対人関係の緊張緩和を図り、自分に自信をつけることを目指す。

クラフト講座 ... 月に一回程度、講師の方を招き、手芸やお菓子作りなどを教わりながらの共同作業体験。

社会スキルアップ講座 ... 毎月一回開催。派遣スタッフがコーディネーターとなり、小グループでのワークを通して、各種社会的スキルの向上を図る。

親の会 ... 毎月一回開催。当施設利用者さんの親御さんを中心に、様々な悩みを抱える親御さん相互の情報交換会・勉強会。派遣スタッフが進行役兼アドバイザーとして参加。



クラフト講座
(手芸)



畑作業



グループワークの様子



親の会



創作活動の成果



3. 成果

2年目に入り、毎週利用するメンバー、時々利用するメンバー、など、各自の利用の形が次第に定まってきた。それに伴い、互いの人間関係も安定し、日々の雑談や近況報告、自然な遊びなどが自発的に発生するようになってきた。クラフト講座は好評で、それを楽しみに参加するメンバーもいる。

スキルアップ講座は、リピーター受講者が多くなり、各自がそれなりの手ごたえを感じているものと思われる。親の会も含め、その人その人のペースに合わせながらではあるが、社会との接点を持つ、という意識を具体的継続的に持つために有用であった。

4. 今後の課題、目標

新規利用者も少しずつではあるが出てきている。今後の定着と活動の発展のため、新旧メンバーそれぞれの悩み・目標に寄り添いながら、必要なサポートを続けていく。そのために、各メンバーの担当カウンセラー等と運営スタッフとの連携も密にする必要がある。

居場所機能としての一定の安定は得られたので、次のステップに向かうビジョンが必要。具体的には、居場所機能と各自の主體的スキルアップとのバランス、遊びや行事を通じた対人経験と、社会参加や生産活動とのバランス、開所日を増やすことは可能か、今後の費用面をどう賄うか、などといった課題を、各メンバーの意向も聞きながら具体化していくことが必要である。